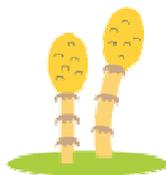


さんだボラセン

風 だより



vol. 19 2012年 春号

三田市社会福祉協議会
ボランティア活動センター
〒669-1514 三田市川除 675
三田市総合福祉保健センター内 1F
TEL079-564-0410 Fax 079-559-5945

何か、新しいことを始めたいけれど、自分がどんなことに向いているのか、どんなことなら楽しめそうかなど、なかなか具体的なイメージがわかなくなったり、これという決め手がない・・・。

そんな時に、誰かひとり、どこか一カ所でも、「つながり」を作ることができたなら、そこから世界は広がって、また、あなたを後押しする「何か」に出会える・・・

そのはじめ一歩として、ぜひ、ボランティア活動センターを思い浮かべてくださいね。



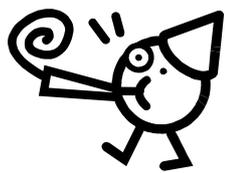
団塊・シニア世代のみなさんの セカンドライフを応援



▲DANKAI カフェ 「愛善会」



▲トーク&トーク 「団塊リアル」



地域デビュー準備術

平成 24 年 3 月 18 日(日) 「地域デビュー準備術」 まちづくり協働センターにて

～ 企業人からボランティアへ ～

外出介助ボランティア「かけはし」 前田 隆さん

会社を退職したら、その後の人生は何をして過ごそうかとずっと考えていました。

自分の生活を第一に、ゴルフという趣味も思いっきり楽しみながら、残りの時間をボランティアに！



～ 自分の興味関心が活動に ～

個人ボランティア 上中 健さん

友人に誘われたのがきっかけで、得意の歌とウクレレでボランティア！

会社にいたころとは違って、肩書きは関係なく、ゼロからの新たな気持ちでスタートしました。



～ 笑顔で地域をもっと笑顔に ～

あすなる腹話術サークル「ニコニコ」

奈良恵美子さん

腹話術で使っている人形たちは、わが子のようにかわいいんです！

地域のつどい、福祉施設、イベントなどで披露して、みなさんに幸せな気持ちになってもらいたい！家族も喜んでくれています。



学校

こんなところにも

福祉学習推進研修会

H24. 2. 22

「地域と学校が共に進める福祉学習って何だろう？」

研修会では、パネルディスカッションとして、松が丘小学校の堺井先生から「民生委員に聞いてみよう！」の授業取組みと、地域活動支援センター「のぞみ」の久保所長から「高平小学校との交流」の取組みについて、それぞれご紹介をもとに学校の先生、地域で活動されている方たちと福祉学習について考えました。

参加者からは、「福祉学習とは、顔が見えるつながりのこと、そしてそのつながりが大切だと気付くこと。それを日常生活の中で、育むことが大切だと思う」「福祉学習は、学校だけでなく、地域やボランティアの協力で取り組むことが大切だと分かった」などの声がありました。

子どもだけではなく大人も共に福祉学習を学び、地域と学校がお互いに協力し合いながら、誰もが大切にされる地域で子どもたちに成長してもらいたいと思います。

トーク&トーク「団塊リアル」

～ 夫婦でお互いの活動を 尊重し合い高めあう ～

福祉有償移送運転支援ボランティア「キャメル」・カメラボランティア（夫）
三田手話サークル 礎（妻） 末岡さんご夫妻

今まで自分を育ててくれた社会に恩返しをしたくてボランティアを始めた夫と、好きで始めた手話がボランティアに繋がった妻。

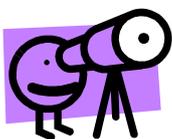
活動の成果に驚かされたり、お互いを尊敬し合える関係なんです。夫婦で誘い合って何かを始めてみることは本当にオススメです！



～ バラエティーな生き方 ～

三田市シルバー人材センター 衣川 義彦さん

自分ができることをやればいい！
相手に笑顔になってもらえると本当に嬉しいです。その笑顔で自分も元気になるんです。一人でも多くの人に知ってもらいたいという思いで活動！



あなたにもできることがきっとある！



春から何か始めてみませんか？

活躍の場が！

福祉施設

施設ボランティア担当者研修会

H24. 2. 29

「地域と利用者をつなぐ架け橋として」

ボランティアに来ていただいて本当に嬉しい！利用者の喜ぶ笑顔が見られる！という、さんすい園の白谷氏やゼフィール三田の太田氏の発表を受けて、ボランティアを受け入れる側の体制作りなどについて情報交換を行いました。それぞれの施設からは、これから具体的に取り組みたいことも出てきました。「施設の行事をボランティアと一緒に盛り上げて、利用者に喜んでほしい」「外出や散歩を一緒に楽しんでほしい」「利用者のクラブ活動をボランティアと一緒にできたらもっと潤いのある生活になるのに」など、よりたくさんの方のそして様々な種類のボランティアや地域の方たちと関わりたいという思いを多くの施設が持たれています。

施設とボランティア、地域がつながることで、利用者の方だけでなく、地域全体がより豊かなものとなるのではないのでしょうか。



お知らせ

さんだボラセンだより



2012年 春号

募集中

“トライやるウィーク” 付き添いボランティア

障がいのある学生のトライやるウィークでの付き添いをお願いします。

「トライやるウィーク」とは・・・中学2年生が5日間の職場体験などを行なうことで、自分たちの地域について学び、「生きる力」を育みます。

*と き：5月28日（月）～ 6月 1日（金） 長坂中学校・富士中学校
6月 4日（月）～ 6月 8日（金） 上野台中学校・けやき台中学校

*問合せ：ボランティア活動センター

ボランティア・市民活動災害共済保険

～安心して、ボランティア活動をするために～

ボランティア活動中の傷害給付・賠償責任給付・見舞金がセットされています。

①傷害給付…ボランティア自身がケガをした場合 ②賠償責任給付…第三者の身体または財物に損害を与えた場合 ③見舞金…ボランティア自身が活動中（往復途上を含む）に①の「傷害給付」の対象とならない理由で亡くなられた場合

*掛け金 **年間1人500円**

*補償期間 **掛け金を受け付けた日の翌日～平成25年3月31日**

*対象となる活動 ○無償の活動であること ○団体の場合、公共性のない自助活動は含まない
○ボランティアの学習会・企画運営会議への参加を含む ○活動場所への通常経路による往復途上を含む

*手続き ボランティア活動センター／各地域福祉支援室／多世代交流館シニア・ユースひろば

*問合せ ボランティア活動センター

【その他の保険】

兵庫県ボランティア活動等行事保険：ボランティア団体・NPO法人などの主催する行事中の事故に備える。

兵庫県移送サービス交通傷害保険：移送サービス中の事故に備える。